

2024年2月6日

日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響を受けつつも、ペントアップ需要の顕在化等に支えられて、緩やかな回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、人流が活発化するもとで、飲食・旅行等のサービス分野を中心に増加している。企業の業況感が改善するもとで、設備投資は増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。

県内主要製造業の生産は、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、人流が活発化するもとで、飲食・旅行等のサービス分野を中心に増加している。

百貨店・スーパー売上高は、物価上昇の影響を受けつつも、増加している。乗用車販売は、供給制約の影響が和らぐもとで、高水準で推移している。家電販売は、弱めの動きとなっている。

この間、主要観光地への入り込みは、ペントアップ需要の顕在化等から、着実に増加している。

設備投資は、増加している。

12月短観調査における2023年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加計画となっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、緩やかに増加している。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けつつも、供給制約の影響が和らぐもとの、持ち直している。

主要業種の生産動向をみると、化学は、海外経済の回復ペース鈍化等の影響から、弱めの動きが続いている。電気機械は、スマートフォンやパソコン等のグローバルな需要の減退から、減少を続けている。一方、輸送用機械は、供給制約の影響が和らぐもとの、回復している。鉄鋼は、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けつつも、自動車向け等の回復から、持ち直している。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、1%台前半となっている。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利をみると、ストックベースでは緩やかな低下傾向が続いているが、新規実行ベースでは下げ止まっている。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1

日本銀行岡山支店総務課 電話 086-227-5111（代表）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知る ぼると
岡山はこちら!!

